

第 14 回 通常 総 会

1999年6月16日(水)

社団法人 人工知能学会

JAPANESE SOCIETY FOR ARTIFICIAL INTELLIGENCE



〒 162- 0821 東京都新宿区津久戸町 4 - 7

OSビル 402 号室

TEL: 03- 5261- 3401 FAX: 03- 5261- 3402

第 1 4 回通常総会次第

日 時 1999 年 6 月 16 日 12 時 20 分～ 12 時 50 分
場 所 早稲田大学国際会議場 1 階ホール
〒 169- 0051 東京都新宿区西早稲田 1- 20- 14

- 総会次第
- 1 開 会
 - 2 会長挨拶
 - 3 議長選出
 - 4 1 9 9 8 年度事業報告
 - 5 個人会員などの除名処分
 - 6 1 9 9 8 年度決算報告および監査報告
 - 7 1 9 9 9 年度事業計画案
 - 8 1 9 9 9 年度予算案
 - 9 定款の改正について
 - 10 1 9 9 9 年度役員構成案
 - 11 1 9 9 9 年度評議員構成案

以上

1998年度事業報告

1 概要

昨年度に引き続き、理事会および各委員会を中心に学会の基盤強化のための諸活動を推進した。第12回全国大会の開催、会誌の隔月発行、研究会活動、国際交流活動およびメンバーリストの運用開始等の会員サービスの充実に努力するとともに、会員外へのサービスとしてセミナーを開催した。

6月16日から4日間にわたり早稲田大学国際会議場で開催した第12回全国大会は、従来の構成（特別講演、招待講演、パネル討論、特別セッション、一般論文発表）の他に、ホットな話題をその分野のリーダーに講義して頂くAIレクチャーと議論を促進するための発表形式としてデジタルポスタセッションが新設され、発表者が史上最高なるという大盛會裡に終了した。

会誌は隔月に発行され、編集委員会の長期的な企画と周到な準備のもとに、各号論文特集、技術特集、解説の連載およびAIマップなどのほか、投稿論文などが掲載された。

7研究会は、それぞれの研究会活動の他に、他学会の研究会との共催研究会や“AIシンポジウム98”を開催するなど活発な活動を行った。なお、来年度には第2種の「ことば工学研究会」が新設されることになり、キックオフ大会が開催された。

セミナーは「AI技術の制御系への応用」と「拡張現実感とAI～モバイル・コンピュータ、ウェアラブル・コンピュータを支える技術～」をテーマに大阪と東京で開催し、何れも好評であった。

国際交流活動の一環として、国際談話タグワークショップを千葉大学と共催で日本で、第9回計算学習理論国際ワークショップ（ALT98）をカイゼルスラウテルン大学と共催でドイツで、5th Pacific Rim International Conference on AIをシンガポールAIセンターと共催でシンガポールで、それぞれ開催した。また、新しい活動として、ロボカップ日本委員会ほかと共催でロボカップ・ジャパンオープンを開催した。その他、海外における人工知能関連シンポジウム、ワークショップ開催の協賛などの協調・連携活動も活発に行った。

2 会員現況（1999年3月31日）

	本年度末 (平成11年3月31日)	前年度末 (平成10年3月31日)	増減数
正会員	3,044名	3,108名	64減
学生会員	457名	434名	23増
名誉会員	6名	5名	1増
賛助会員	65社	76社	11減
特殊購読会員	106団体	105団体	1増

3 会誌発行（発行部数：4,300）

① 第13巻3号（通巻69号）1998年5月1日発行

小特集「ヒューマンシステムインタラクションの知的支援技術」の解説5編、連載解説「AI技術の産業応用(3)：制約最適化技術のスケジューリング問題への応用」、論文10編、技術資料1編、他

② 第13巻4号（通巻70号）1998年7月1日発行

小特集「XML：インターネット上での情報の記述と交換」の解説3編、解説1編、連載解説「AI技術の産業応用(4)：診断問題への適用例」、論文9編、ショートノート1編、技術資料1編、他

③ 第13巻5号（通巻71号）1998年9月1日発行

論文特集「対話型進化計算法」の解説1編と論文5編、連載解説「AI技術の産業応用(5)：知的情報検索の応用」、AIマップ「メディアを手掛かりとしたAI技術・

研究の再構築」, 論文 8 編, 他

- ④ 第 13 巻 6 号 (通巻 72 号) 1998 年 11 月 1 日発行
小特集「エンタープライズモデリングと AI 技術」の解説 4 編, 解説 2 編, 連載
解説「AI 技術の産業応用(6): ナレッジマネジメントへむけて」, 論文 9 編, ショー
トノート 1 編, 他
- ⑤ 第 14 巻 1 号 (通巻 73 号) 1999 年 1 月 1 日発行
特集「ユーザモデリングと適応的インタラクション」の解説 5 編, AI マップ「AI
マップメディアを手掛かりとした AI 技術・研究の再構築」のコメントと回答,
論文特集「オフィスにおける知的生産性向上支援ツール」の解説 1 編と論文 6 編,
論文 5 編, 技術資料 1 編, 他
- ⑥ 第 14 巻 2 号 (通巻 74 号) 1999 年 3 月 1 日発行
論文特集「談話タグ: コーパスとタグ付けの支援技法」の解説 1 編と論文 4 編お
よび技術資料 1 編とショートノート 1 編, 解説 2 編, 連載解説「AI 技術の産業応用
(7): テレビゲームへの人工知能技術の利用」, AI マップ「人間の非論理的情報を AI
はどう取り扱うか」, 論文 7 編, 技術資料 1 編, 他

4 全国大会 (第 12 回) の開催

- ・日時: 1998 年 6 月 16 日 (火) ~ 19 日 (金)
- ・場所: 早稲田大学・国際会議場 (東京・西早稲田)
- ・構成:
 - ① 特別講演: 人間型ロボットの研究 平井 和雄 (本田技研)
 - ② 招待講演: 発見科学: もうひとつの永遠の課題 有川 節夫 (九大大学院)
 - ③ AI レクチャー
 - Perceptual User Interface-GUI から PUI へ 竹林 洋一 (東芝 RDC)
 - RoboCup: Robot World Cup 北野 宏明 (ソニー CSL)
 - オントロジー工学の試み 溝口 理一郎 (阪大産研)
 - Aglets を利用したエージェント・マーケットプレース 中村 祐一 (日本 IBM)
 - 電子化意味辞書—商用システム用辞書と「日本語語彙体系」 大山 芳史 (NTT CSL)
 - 実世界情報の知能化とは?—知能と非知能の未分化の扱いについて 岡 隆一 (RWCP)
 - 感性を伝えるコミュニケーションの実現をめざして 中津 良平 (ATR 知能研)
 - ④ パネルディスカッション
「トイワールドからの脱皮~新しい時代の新しい実問題のための新しい AI」
「情報表現技術—技術動向とその方向性—」
 - ⑤ 特別セッション (7 セッション, 30 講演)
 - 「共通データに基づく知識発見手法の比較と評価」
 - 「ロボカップ—RoboCup'97 から RoboCup'98 への展望」
 - 「学習支援システム研究の最前線」
 - 「情報統合—デジタルポスタセッション」
 - 「ロボカップ—デジタルポスタセッション」
 - 「音声言語処理とインターネット」
 - 「人工知能基礎のニューフロンティア」
 - ⑥ チュートリアル講演
 - トラック 1: 「モバイルコンピューティング最前線とその応用」
 - ・モバイルコンピューティングとエージェント 長尾 確 (ソニー CSL)
 - ・応用事例(1): モバイルインフォサーチ 高橋 克巳 (NTT)
 - ・応用事例(2): モバイルアシスタント 角 康之 (ATR 知能研)
 - トラック 2: 「大規模データからの知識発見: 理論と応用」

- ・大規模データからの知識発見ツール 寺野 隆雄(筑波大)
- ・機械学習・統計学からのアプローチと医療への応用 津本 周作(東京医歯大)
- ・データベースからのアプローチと流通・金融業への応用 福田 剛志(日本 IBM)

トラック 3:「人間中心知的システムの評価の理論と実際」

- ・知的システム評価のための統計的方法と理論と実際—数量化法を中心として 岩坪 秀一(大学入試センター)
- ・実践的ユーザビリティ評価技法の理論と実際 田丸 恵理子(富士ゼロックス)
- ・測定尺度に基づく評価理論の過去・現在・未来 鷺尾 隆(阪大)

- ⑦ 一般応募講演 259 件
- ⑧ 参加者 637 人(会員 443 名、非会員 194 名)
- ⑨ 優秀論文表彰 ベストプレゼンテーション賞 6 件
優秀論文賞 5 編

5 研究会の開催

① 人工知能基礎論研究会

- ・第 33 回
期 日：1998 年 5 月 28 日(木)～29 日(金)
場 所：大阪大学
テーマ：一般講演，小特集「ネットワークと AI」
研究発表 11 件，招待講演 1 件，参加者 28 名
- ・第 34 回
期 日：1998 年 9 月 24 日(木)～25 日(金)
場 所：北陸先端科学技術大学院大学
テーマ：一般講演，小特集「新計算環境パラダイム」
研究発表 10 件，招待講演 2 件，参加者 69 名
- ・第 35 回
期 日：1998 年 12 月 17 日(木)～18 日(金)
場 所：九州大学国際ホール
テーマ：一般講演，小特集「発見科学」
研究発表 21 件，招待講演 1 件，参加者 55 名
- ・第 36 回
期 日：1999 年 3 月 25 日(木)，26 日(金)
場 所：東京電機大学
テーマ：一般講演，小特集「新コンピューティングパラダイム」
研究発表 14 件，招待講演 2 件，参加者 40 名

② 知識ベースシステム研究会

- ・第 41 回
期 日：1998 年 9 月 29 日(火)
場 所：静岡大学
テーマ：一般講演，「エンタープライズ・モデリングと AI」
研究発表 6 件，パネル討論 1 件，参加者 30 名
- ・第 42 回
期 日：1999 年 1 月 27 日(水)，28 日(木)
場 所：東京工業大学
テーマ：一般講演，「共通データに基づく知識発見手法の比較と評価(第 2 回)」
研究発表 13 件，パネル討論 1 件，参加者 54 名
- ・第 43 回(けいはんな知的情報統合研究会と共催)
期 日：1999 年 3 月 23 日(火)，24 日(水)
場 所：けいはんなプラザ

テーマ：一般講演，「インターネットとAI」
研究発表 15 件，招待講演 3 件，参加者 66 名

395件 / 150名

③ 言語・音声理解と対話処理研究会

・第 22 回

期 日：1998 年 6 月 5 日（金）
場 所：ATR 知能映像通信研究所
テーマ：一般講演

研究発表 5 件，参加者 52 名

・第 23 回（電子情報通信学会音声研究会と共催）

期 日：1998 年 10 月 15 日（木）
場 所：KDD 研究所
テーマ：一般講演，「対話」

研究発表 10 件，参加者 27 名

・第 24 回

期 日：1998 年 12 月 11 日（金）
場 所：機械振興会館
テーマ：一般講演，合同研究会

研究発表 1 件，参加者 47 名

・第 25 回

期 日：1998 年 2 月 26 日（金）
場 所：早稲田大学
テーマ：一般講演

研究発表 4 件，チュートリアル講演 3 件，参加者 30 名

235件 / 156名

④ 知的教育システム研究会

・第 22 回（電子情報通信学会教育工学研究会と共催）

期 日：1998 年 4 月 24 日（金）
場 所：機械振興会館

テーマ：一般講演，「エージェント技術の教育活用と CSCL」
研究発表 12 件，参加者 36 名

・第 23 回

期 日：1998 年 10 月 30 日（金）
場 所：大阪大学
内 容：一般講演，「情報の可視化」

研究発表 9 件，招待講演 1 件，参加者 36 名

・第 24 回

期 日：1998 年 12 月 11 日（金）
場 所：機械振興会館
テーマ：一般講演，合同研究会

研究発表 6 件，参加者 47 名

・第 25 回

期 日：1999 年 3 月 12 日（金），13 日（土）
場 所：日立製作所厚生年金基金勝田会館
テーマ：「知的作業支援としての学習/訓練支援」

研究発表 10 件，特別講演 1 件，参加者 25 名

385件 / 97名

⑤ AI チャレンジ研究会

（第 2 種研究会，旧ホットトピックスと並列人工知能研究会）

・第 1 回

期 日：1998 年 4 月 9 日（木）～11 日（土）
場 所：TEPIA ホール

テーマ：RoboCup Japan Open

研究発表 2 件，招待講演 1 件，参加者 100 名

- ・第2回
期 日：1998年6月17日（水）～18日（木）
場 所：早稲田大学国際会議場
テーマ：ロボカップ
研究発表8件，参加者100名
- ・第3回
期 日：1998年11月7日（水）
場 所：大阪府立大学
テーマ：音環境理解
研究発表5件，招待講演2件，参加者30名
- ・第4回
期 日：1999年2月22日（月）
場 所：東芝本社ビル
テーマ：GDA，インターネット
研究発表4件，招待講演2件，参加者30名
- ・第5回
期 日：1999年3月17日（水）
場 所：都市環境アカデミー
テーマ：ロボカップ
研究発表7件，招待講演1件，参加者30名

32件 / 290名

⑥ 情報統合研究会（第2種研究会）

- ・第7回
期 日：1998年7月7日（火）
場 所：新情報処理開発機構つくば研究センター
テーマ：「時空間情報統合」
研究発表6件，総合討論1件，参加者28名
- ・第8回
期 日：1998年12月10日（木）
場 所：機械振興会館
テーマ：「知的作業支援での情報統合」
研究発表5件，参加者25名
- ・第9回
期 日：1999年3月25日（木）
場 所：新情報処理開発機構つくば研究センター
テーマ：「Cross Media への情報統合的アプローチ」
研究発表4件，総合討論1件，参加者15名

17件 / 18名

⑦ 分子生物情報研究会（第2種研究会）

- ・第1回
期 日：1998年4月17日（金）
場 所：東京大学 医科学研究所 ヒトゲノム解析センター
テーマ：一般
研究発表2件，招待講演1件，参加者35名
- ・第2回
期 日：1998年6月12日（金）
場 所：電子技術総合研究所
テーマ：一般
研究発表7件，参加者37名
- ・第3回
期 日：1998年9月11日（金）
場 所：かずさDNA研究所
テーマ：一般
研究発表5件，招待講演2件，参加者40名

- ・第4回
期日：1998年11月27日（金）
場所：慶應義塾大学
テーマ：細胞シミュレーションに関するワークショップ
研究発表 10件，参加者 80名
- ・第5回
期日：1999年1月18日（月）
場所：日本電気（株）
テーマ：タンパク質立体構造予測特集
研究発表 3件，招待講演 2件，参加者 23名
- ・第6回
期日：1999年3月12日（金）
場所：石川ハイテク交流センター
テーマ：一般
研究発表 8件，参加者 31名

4019 / 28670

- ⑧ AI シンポジウム'98
期日：1998年12月9日（水）～12月11日（金）
場所：機械振興会館
テーマ：「toy world から real world へ」
研究発表 20件，招待講演 3件，パネル討論 1件，参加者 71名

6 シンポジウム／ワークショップの開催

- ① RoboCup-98 ジャパン・オープン
期日 1998年4月9日（木）～11日（土）
場所 TEPIA エグジビジョンホール
共催 人工知能学会，RoboCup 日本委員会，日本経済新聞社
構成 シミュレーションリーグ，実機小型リーグ，実機中型リーグ
参加者 (12チーム) (4チーム) (3チーム)
- ② 国際談話タグワークショップ
期日 1998年5月20日（水）～22日（金）
場所 かずさアカデミアパーク（木更津市）
共催 人工知能学会，千葉大学
構成 事前宿題及び前回までの成果，英語と日本語の比較などについて討議
参加者 国内 21名，海外 22名
- ③ 第9回計算学習理論国際ワークショップ（ALT98）
期日 1998年10月8日（木）～10日（土）
場所 Otzenhausen, Rheinland- Pfalz, Germany
共催 人工知能学会，カイゼルスラウテルン大学
構成 招待講演 3件，講演発表 25件
参加者 7か国から 70名
- ④ 5th Pacific Rim International Conference on AI（PRICAI98）
期日 1998年11月22日（日）～27日（金）
場所 シンガポール
共催 日本・シンガポールAIセンター
構成 講演発表 50件
参加者 8か国から 300名
- ⑤ 生産スケジューリング・シンポジウム97

期 日 1998年10月8日(木)～9日(金)
場 所 東北大学
共 催 スケジュール学会(幹事), 人工知能学会, システム制御情報学会,
日本OR学会, 日本機械学会, 日本経営工学会
構 成 特別講演2件, パネル討論2件, 一般講演34件
参加者 148名

⑥ 第16回設計シンポジウム

期 日 1998年7月9日(木)～10日(金)
場 所 東京大学山上会館
共 催 精密工学会(幹事), 人工知能学会, 日本設計工学会, 日本機械学会
構 成 特別講演1件, 一般講演23件
参加者 65名

7 セミナー

① 第36回人工知能セミナー

- ・テーマ:「AI技術の制御系への応用」
- ・期 日:1998年7月16日(木) 10時30分～16時30分
- ・場 所:三菱電機株式会社 先端技術総合研究所
- ・協 賛:情報処理学会, 電子情報通信学会, 計測自動制御学会, 日本機械学会,
精密工学会, 日本ロボット学会, 自動車技術会, 日本ソフトウェア科学
会, 日本設計工学会, 映像情報メディア学会, 日本シミュレーション学
会, 日本OR学会, システム制御情報学会, 日本経営情報学会, 日本認
知科学会(順不同)
- ・プログラム:
<司 会> 仲谷 善雄氏(三菱電機(株))
 - ・人工知能の新たな挑戦:ロボカップ
浅田 稔氏(大阪大学)
 - ・分類木規則学習の拡張とネットワークデータ分析への応用
吉田 健一氏((株)日立製作所)
 - ・AHS(走行支援道路システム)の概要とAI技術への期待
保坂 明夫氏(AHS研究組合)
 - ・<技術展望>社会情報システム
石田 亨氏(京都大学)
- ・参加申込:25名

② 第37回人工知能セミナー

- ・テーマ:「拡張現実感とAI～モバイル・コンピュータ, ウェアラブル・コンピ
ュータを支える技術～」
- ・期 日:1998年12月18日(金) 10時30分～16時45分
- ・場 所:日本ユニシス株式会社 東京本社
- ・協 賛:情報処理学会, 電子情報通信学会, 計測自動制御学会, 日本機械学会,
精密工学会, 日本ロボット学会, 自動車技術会, 日本ソフトウェア科学
会, 日本設計工学会, 映像情報メディア学会, 日本シミュレーション学
会, 経営情報学会, システム制御情報学会, 日本OR学会, 日本認知科
学会(順不同)
- ・プログラム:
<司 会>
 - ・デジタルとフィジカルの融合:実世界に展開するユーザインタフェース
暦本 純一氏((株)ソニーコンピュータサイエンス研究所)
 - ・拡張現実感の産業分野への応用事例
仲谷 善雄氏((株)ドーシス)

- ・ウェアラブル・コンピュータと装着型インタフェース
福本 雅朗氏 (NTT 移動通信網 (株))
- ・「こたつトップ」～家庭用ネットワーク端末の試み～
窪田 和弘氏 (日本電気 (株))
- ・参加申込：43名

8 1998 年度の表彰

- ① 功績賞 (第 13 回全国大会で表彰の予定：1999 年 6 月 16 日)
功績賞規程および功績賞候補選定細則に基づき、正会員による候補の推薦および功績賞選定委員会の審査を経て、下記の通り功績賞を贈呈。
- ・「人工知能分野の発展に多大な成果を挙げた」 堂下 修司
 - ・「人工知能技術の研究開発の発展に多大な成果を挙げた」 森 健一
- ② 功労賞 (第 13 回全国大会で表彰の予定：1999 年 6 月 16 日)
功労賞規程および功労賞候補選定細則に基づき、正会員による候補の推薦および功労賞選定委員会の審査を経て、下記の通り功労賞を贈呈。
- ・「理事、副会長を歴任して学会発展の基礎を固めた」 石原 孝一郎
 - ・「理事及び監事として諸規定整備・財政基盤の確立と健全化に貢献」 田中 千代治
- ③ 特別功労賞 (第 13 回全国大会で表彰の予定：1999 年 6 月 16 日)
功労賞選定委員会の審査を経て、下記の通り特別功労賞を贈呈。
- ・「人工知能国際会議 (IJCAI-97) 開催への貢献」 古川 康一
- ④ 1998 年度学会論文賞 (第 13 回全国大会で表彰の予定：1999 年 6 月 16 日)
論文賞規程および論文賞候補選定細則に基づき、会誌第 13 巻第 1 号～第 13 巻第 6 号に発表された論文 (ショートノート、技術資料を含む) 39 編を対象に、正会員による候補の推薦および論文賞選定委員会の審査を経て、下記の 2 編の著者に論文賞を贈呈。
- ・「MDL 原理に基づく新正則化法」 齊藤 和己, 中野 良平
 - ・「ユーザの変化する興味を理解し表現する文献検索支援システム Index Navigator」
大澤 幸生, 須川 敦史, 谷内田 正彦
- ⑤ 研究奨励賞 (第 13 回全国大会で表彰の予定：1999 年 6 月 16 日)
研究奨励賞規程、同選定細則に基づき、1998 年度の研究会で発表された論文を対象に、選定委員会による審査を経て、下記の 11 編の著者に研究奨励賞を贈呈。
- ・「区分多項式素子からなる神経回路網の VC 次元」 櫻井 彰人
 - ・「アラームの伝播モデルに基づく障害診断方法」 橋本 和夫, 松本 一則
 - ・「遺伝子発現パターンデータからの定性ネットワークの推定」 阿久津 達也, 宮野 悟, 久原 悟
 - ・「インターネットカメラを用いた実空間と情報空間の双方向ナビゲーションシステム」 伊藤 史朗, 大谷 紀子, 上田 達也, 池田 裕治
 - ・「オントロジーを利用した帰納学習アプリケーションの自動合成」 酢山 明弘, 根岸 直矢, 山口 高平
 - ・「音声認識の自己目的的な楽しさ」 西本 卓也, 新美 康永
 - ・「自然言語を用いて家庭機器操作を行う対話システム」 長田 誠也, 土井 伸一, 亀井 真一郎
 - ・「保修技術継承のための学習支援システム」 尾暮 拓也, 古田 一雄, 九手 明純, 花房 英光
 - ・「ハイパーメディア教材の有用性見積もり手法」

柏原 昭博, 長谷川 忍, 豊田 順一

- ・「事情通ロボットによるオフィス環境における知的作業支援」
本村 陽一, 松井 俊浩, 麻生 英樹, 浅野 太, 原 功, John Fry
- ・「ネットサーフィングを対象とした興味とフィルタリング機能」
野本 豊裕, 松田 憲幸, 平嶋 宗, 豊田 順一

- ⑥ 全国大会（第12回）優秀論文賞（“AI ソフトウェア’98”で表彰：1998年12月9日）
全国大会優秀論文賞規程および同選定細則に基づき、発表論文175編を対象に、
全国大会優秀論文賞選定委員会の審査を経て、下記の5編の著者を表彰。
- ・「拡張 SDS：連立方程式系の科学的発見モデル」 鷲尾隆, 元田浩
 - ・「タブー探索の拡張：タブーツリーアルゴリズム-- 配車計画問題への適用 --」
上田晴康, Jeremy Bowman
 - ・「人工社会モデルによる社会的インタラクションの分析」
倉橋節也, 南湖, 寺野隆雄
 - ・「WWW 上で文献検索プランニングを行なうソフトウェアエージェント NaviPlan」
大澤幸夫, 山田誠二
 - ・「ユーザの文脈を考慮した展示ガイドシステム」
角康之, 江谷為之, 小林薫, Sideny Fels, Nicolas Simone, 間瀬健二

- ⑦ 全国大会（第12回）ベストプレゼンテーション賞
（“AI ソフトウェア’98”で表彰：1998年12月9日）
全国大会優秀論文賞規程および同選定細則に基づき、デジタルポスタ94件を対象に、
全国大会優秀論文賞選定委員会の審査を経て、下記の6編の著者を表彰。
- ・「形状特徴を用いたジェスチャのスポッティング認識システム」
西村拓一, 向井理朗, 岡隆一
 - ・「J-STAR サッカーロボットの開発～JP/S-Iグループ～」
山崎文敬, 中川友紀子, 秋田純一, 名塚一郎, 本間淳, 瀬々潤, 坂敏秀, 北野宏明
 - ・「Concordia™ as Enabling Technology for Cooperative Information Gathering」
Algero Castillo, Masataka Kawaguchi, Naomi Paciorek, David Wong, 木野茂徳, 朝日宣雄
 - ・「在宅介護サービス計画支援システムの開発」
永野隆文, 仲谷美江, 辻野克彦
 - ・「データベースからの学習機能を持つ確率推論システム BAYONET」
本村陽一, 原功
 - ・「コンピュータ上の言語感覚実現に向けて：B級機関」
松澤和光, 金杉友子, 阿部明典

9 共催、協賛、後援などの催し物（1998年度承認分）

以下のように共催6件、協賛56件、後援2件及び会誌掲載（催し物64件、教官募集15件）により、他学会などと協調して学会活動の活性化および多様化を推進した。

<共催> 6件

- (01) 1999年度情報学シンポジウム
主 催：日本学術会議
期 日：1999年1月13日（水）～14日（木）
- (02) 生産スケジューリング・シンポジウム’98
主 催：スケジューリング学会
期 日：1998年10月8日（木）～9日（金）
- (03) IREX-1（第1回IREX報告会）
主 催：IREX実行委員会
期 日：1999年9月
- (04) 日本学術会議50周年記念シンポジウム「設計の質的転換」
主 催：日本学術会議 人工物設計・生産研究連絡委員会

- 期 日：1999年5月12日(水)～13日(木)
- (05) 日本学術会議 50周年記念計測連合シンポジウム「先端計測 '99」
主 催：日本学術会議 工学共通基盤研究連絡委員会
期 日：1999年5月26日(水)～28日(金)
- (06) 第9回インテリジェント・システム・シンポジウム
主 催：日本機械学会
期 日：1999年10月27日(水)～28日(木)

<協賛> 56件

- (01) カラーフォーラム JAPAN 98
主 催：日本色彩学会
期 日：1998年11月10日(火)～12日(木)
- (02) 第13回生体・生理工学シンポジウム
主 催：計測自動制御学会
期 日：1998年9月9日(水)～11日(金)
- (03) 第4回関西情報関連学会連合大会
主 催：情報処理学会関西支部
期 日：1998年7月10日(金)
- (04) The 11th International Conference on Applications of Prolog (INAP-98)
主 催：INAP 組織委員会, 日本 Prolog 協会
期 日：1998年9月14日(月)～16日(水)
- (05) 第41回自動制御連合講演会
主 催：システム制御情報学会(幹事)
期 日：1998年11月19日(木)～21日(土)
- (06) 第19回バイオメカニズム学術講演会
主 催：バイオメカニズム学会
期 日：1998年11月26日(木)～27日(金)
- (07) 計測自動制御学会関西支部シンポジウム「システムの知能化と制御」
主 催：計測自動制御学会
期 日：1998年10月26日(月)～29日(火)
- (08) The Twelfth International Conference on Industrial & Engineering
Applications of Artificial Intelligence & Expert Systems(IEA/AIE-99)
主 催：International Society of Applied Intelligence
期 日：May 31-June 3, 1999
- (09) 第4回知能情報メディアシンポジウム
主 催：電子情報通信学会
期 日：1998年12月8日(火)～9日(水)
- (10) バーチャルシステム・マルチメディア国際会議'98 岐阜 (VSMM 98)
共 催：VSMM 国際学会, ユネスコ世界文化遺産センター
期 日：1998年11月18日(水)～20日(金)
- (11) SICE セミナー「古典制御：新しい視点からの再入門」
主 催：計測自動制御学会
期 日：1998年10月6日(火)～7日(水)
- (12) シンポジウム「オントロジー工学 ー知識の外在化と共有を目指してー」
主 催：日本情報処理開発協会
期 日：1998年7月17日(金)
- (13) 第8回設計工学・システム部門講演会
主 催：日本機械学会
期 日：1998年11月9日(月)～11日(水)
- (14) 5th Symposium on Microjoining and Assembly Technology in Electronics (Mate 99)
主 催：溶接学会, 高温学会
期 日：1999年2月4日(木)～5日(金)
- (15) 知的社会基盤工学技術シンポジウム

- 主 催：知的社会基盤工学技術調査研究委員会
期 日：1998年9月18日（金）
- (16) SICE セミナー「現代制御理論入門」
主 催：計測自動制御学会
期 日：1998年11月10日（火）～11日（水）
- (17) セミナー「先端検査技術の最新動向－非破壊検査の基礎と産業への応用」
主 催：センシング技術応用研究会
期 日：1998年11月24日（火）
- (18) 1999年 並列処理シンポジウム（JSPP'99）
主 催：情報処理学会、電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会
期 日：1999年6月9日（水）～11日（金）
- (19) シンポジウム「携帯電話の利用性と人間工学」
主 催：日本人間工学会関西支部
期 日：1998年12月4日（金）～5日（土）
- (20) 第20回臨床歩行分析研究会例会
主 催：臨床歩行研究会
期 日：1998年12月5日（土）～6日（日）
- (21) 第11回自律分散システム・シンポジウム
主 催：計測自動制御学会
期 日：1999年1月18日（月）～19日（火）
- (22) S. Hameroff 教授講演会”量子コンピュータ研究と意識コンピュータの展望”
主 催：脳と意識に関する Tokyo'99 国際学会
期 日：1998年10月4日（日）
- (23) 創価大学大学院工学研究科「情報システム先端技術講座」
主 催：創価大学大学院工学研究科・先端技術研究教育アカデミー
期 日：1999年4月～2000年2月
- (24) International Conference on Computers in Education（ICCE）'99
主 催：Asia-Pacific Chapter（APC）of AACE
期 日：1999年11月2日（火）～5日（金）
- (25) The Fourth Asian Fuzzy Systems Symposium（AFSS2000）
主 催：日本ファジィ学会
期 日：2000年5月10日～13日
- (26) 第26回知能システムシンポジウム
主 催：計測自動制御学会
期 日：1999年3月24日（水）～25日（木）
- (27) 第4回 JSME ロボメカ・シンポジア
主 催：日本機械学会
期 日：1999年1月12日（火）
- (28) 第2回ロボットグランプリ（協力依頼）
主 催：日本機械学会
期 日：1999年1月16日（土）～17日（日）
- (29) Dynamics and Design Conference '99
主 催：日本機械学会
期 日：1999年3月16日（火）～19日（金）
- (30) ロボティクス・メカトロニクス講演会 99（ROBOMECH '99）
主 催：日本機械学会
期 日：1999年6月11日（金）～13日（日）
- (31) 第17回日本ロボット学会学術講演会
主 催：日本ロボット学会
期 日：1999年9月9日（木）～11日（土）
- (32) Discovery Science 1999（ALT'99 と併設）
主 催：特定領域研究（A）「発見科学」領域
期 日：1999年12月6日（月）～8日（水）
- (33) 生体機構制御研究会発足記念研究会 一動物に学び、機械に学ぶー

- 主 催：生体機構制御研究会
期 日：1999年1月23日(土)
- (34) 第9回歩行分析実習セミナー
主 催：臨床歩行分析研究会
期 日：1999年3月25日(木)～28日(日)
- (35) 第16回バイオメカニズム・シンポジウム
主 催：バイオメカニズム学会
期 日：1999年8月3日(火)～5日(木)
- (36) SICE セミナー「ロバスト制御入門」
主 催：計測自動制御学会
期 日：1999年2月16日(火)～17日(水)
- (37) 経営情報学会シンポジウム「複雑系とポリエージェントシステム論」
主 催：経営情報学会
期 日：1999年2月6日(土)
- (38) 3次元画像コンファレンス99
主 催：同実行委員会
期 日：1999年6月30日(水)～7月1日(木)
- (39) 第1回複合現実感国際シンポジウム
主 催：日本バーチャルリアリティ学会
期 日：1999年3月9日(火)～11日(木)
- (40) 第7回機械翻訳国際会議 (MT Summit VII)
主 催：アジア太平洋機械翻訳協会 (AAMT)
期 日：1999年9月13日(月)～17日(金)
- (41) シンポジウム「洗濯の技術と文化」
主 催：日本人間工学会
期 日：1999年3月16日(火)～18日(木)
- (42) Digital Ware Osaka 1999
主 催：日本能率協会
期 日：1999年10月6日(水)～8日(金)
- (43) SICE セミナー「適応制御の基礎と発展」
主 催：計測自動制御学会
期 日：1999年3月8日(月)～9日(火)
- (44) 第15回ファジィシステムシンポジウム (設立10周年記念大会)
主 催：日本ファジィ学会
期 日：1999年6月2日(水)～5日(土)
- (45) The Thirteenth International Conference on Industrial & Engineering Applications of Artificial Intelligence & Expert Systems (IEA/AIE- 2000)
主 催：International Society of Applied Intelligence
期 日：2000年6月19日(月)～22日(木)
- (46) システム制御情報チュートリアル講座99「LMIによるロバスト制御系」
主 催：システム制御情報学会
期 日：1999年6月8日(火)～9日(水)
- (47) 電子情報通信学会セミナー「HCのための顔大研究」
主 催：電子通信情報学会
期 日：1999年3月24日(水)
- (48) 第18回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス
主 催：日本シミュレーション学会
期 日：1999年6月14日(月)～15日(火)
- (49) 運動分析システム比較検討会
主 催：臨床歩行分析研究会
期 日：1999年7月3日(土)～4日(日)
- (50) ヒューマンインタフェースシンポジウム99
主 催：ヒューマンインタフェース学会

- 期 日：1999年10月4日(月)～6日(水)
- (51) 第42回自動制御連合講演会
主 催：計測自動制御学会
期 日：1999年11月6日(土)～7日(日)
- (52) 第14回生体・生理工学シンポジウム
主 催：計測自動制御学会
期 日：1999年10月6日(水)～8日(金)
- (53) SICE 夏期セミナー'99 - Let's master 制御理論 -
主 催：計測自動制御学会
期 日：1999年6月20日(日)～22日(火)
- (54) 第2回認知科学国際会議・日本認知科学会第16回大会 合同会議
主 催：日本認知科学会
期 日：1999年7月27日(火)～30日(金)
- (55) 講習会「シミュレーションを利用するプロセスの設計と制御」
主 催：計測自動制御学会関西支部
期 日：1999年6月30日(水)
- (56) 第2回情報論的学習理論ワークショップ
主 催：情報理論とその応用学会, 電子情報通信学会
期 日：1999年8月26日(木)～27日(金)

<後援> 2件

- (01) 教育講座「カオス工学を中心とした複雑系の科学と技術コース」
主 催：神奈川科学技術アカデミー
期 日：11/9, 11/10, 11/16, 11/17, 11/18, 11/24, 11/25
- (02) 第6回アジア学術会議－科学者フォーラム
主 催：日本学術会議
期 日：1999年3月15日(月)～18日(木)

<会誌掲載・共催, 協賛, 後援> 64件

- (01) 第8回インテリジェント・システム・シンポジウム (FAN Symposium)
主 催：電気学会産業システム情報化技術委員会
期 日：1998年10月29日(木)～30日(金)
- (02) 講習会「感性工学をこう考える」
主 催：日本ファジィ学会
期 日：1998年5月19日(火)
- (03) SICE セミナー「制御のためのシステム同定」
主 催：計測自動制御学会
期 日：1998年6月1日(月)～2日(火)
- (04) SICE 夏期セミナー'98「実践デジタル信号処理」
主 催：計測自動制御学会
期 日：1998年6月17日(水)～18日(木)
- (05) Computer Graphics Osaka 98 / Network Kansai 98
主 催：日本能率協会
期 日：1998年6月23日(火)～25日(木)
- (06) 講習会「シンクロトロン放射光を利用した新しい計測技術－SPring-8 最前線」
主 催：計測自動制御学会関西支部
期 日：1998年6月25日(木)
- (07) チュートリアル「非線形制御が秘めるパワー：基礎から設計ツールまで」
主 催：システム制御情報学会
期 日：1998年7月9日(木)～10日(金)
- (08) 第4回関西情報関連学会連合大会 「情報空間への旅立ち - 不透明な時代を生きる -」
期 日：平成10年7月10日(金)

- (09) 1998年度情報論的学習理論ワークショップ (IBIS'98)
主 催：情報理論とその応用学会
期 日：1998年7月11日(土)～12日(日)
- (10) 第25回日産学術研究助成候補者募集
受付期間：1998年6月1日～8月31日(月)必着
- (11) 第4回関西情報関連学会連合大会
主 催：情報処理学会関西支部
期 日：1998年7月10日(金)
- (12) 第13回生体・生理工学シンポジウム
主 催：計測自動制御学会
期 日：1998年9月9日(水)～11日(金)
- (13) The 11th International Conference on Applications of Prolog (INAP- 98)
主 催：INAP 組織委員会, 日本 Prolog 協会
期 日：1998年9月14日(月)～16日(水)
- (14) 計測自動制御学会関西支部シンポジウム「システムの知能化と制御」
主 催：計測自動制御学会
期 日：1998年10月26日(月)～29日(火)
- (15) カラーフォーラム JAPAN '98
主 催：日本色彩学会
期 日：1998年11月10日(火)～12日(木)
- (16) 第41回自動制御連合講演会
主 催：システム制御情報学会(幹事)
期 日：1998年11月19日(木)～21日(土)
- (17) 第19回バイオメカニズム学術講演会
主 催：バイオメカニズム学会
期 日：1998年11月26日(木)～27日(金)
- (18) 第4回知能情報メディアシンポジウム
主 催：電子情報通信学会
期 日：1998年12月8日(火)～9日(水)
- (19) The Twelfth International Conference on Industrial & Engineering
Applications of Artificial Intelligence & Expert Systems (IEA/AIE- 99)
主 催：International Society of Applied Intelligence
期 日：May 31 - June 3, 1999
- (20) 知的社会基盤工学技術シンポジウム
主 催：知的社会基盤工学技術調査研究委員会
期 日：1998年9月18日(金)
- (21) SICE セミナー「古典制御：新しい視点からの再入門」
主 催：計測自動制御学会
期 日：1998年10月6日(火)～7日(水)
- (22) 第8回設計工学・システム部門講演会
主 催：日本機械学会
期 日：1998年11月9日(月)～11日(水)
- (23) SICE セミナー「現代制御理論入門」
主 催：計測自動制御学会
期 日：1998年11月10日(火)～11日(水)
- (24) バーチャルシステム・マルチメディア国際会議'98 岐阜 (VSMM '98)
共 催：VSMM 国際学会, ユネスコ世界文化遺産センター
期 日：1998年11月18日(水)～20日(金)
- (25) セミナー「先端検査技術の最新動向：非破壊検査の基礎と産業への応用」
主 催：センシング技術応用研究会
期 日：1998年11月24日(火)
- (26) 5th Symposium on Microjoining and Assembly Technology in Electronics (Mate '99)
主 催：溶接学会, 高温学会
期 日：1999年2月4日(木)～5日(金)

- (27) 1999年 並列処理シンポジウム (JSPP'99)
 主 催：情報処理学会, 電子情報通信学会, 日本ソフトウェア科学会
 期 日：1999年6月9日(水)～11日(金)
- (28) 教育講座「カオス工学を中心とした複雑系の科学と技術コース」
 主 催：神奈川科学技術アカデミー
 期 日：1998年11/9, 11/10, 11/16, 11/17, 11/18, 11/24, 11/25
- (29) 生産スケジューリング・シンポジウム'98
 主 催：スケジューリング学会
 期 日：1998年10月8日(木)～9日(金)
- (30) 1999年度情報学シンポジウム
 主 催：日本学術会議
 期 日：1999年1月13日(水)～14日(木)
- (31) S. Hameroff 教授講演会”量子コンピュータ研究と意識コンピュータの展望”
 主 催：脳と意識に関する Tokyo'99 国際学会
 期 日：1998年10月4日(日)
- (32) シンポジウム「携帯電話の利用性と人間工学」
 主 催：日本人間工学会関西支部
 期 日：1998年12月4日(金)～5日(土)
- (33) 第20回臨床歩行分析研究会例会
 主 催：臨床歩行研究会
 期 日：1998年12月5日(土)～6日(日)
- (34) 第4回 JSME ロボメカ・シンポジア
 主 催：日本機械学会
 期 日：1999年1月12日(火)
- (35) 第2回ロボットグランプリ
 主 催：日本機械学会
 期 日：1999年1月16日(土)～17日(日)
- (36) 第11回自律分散システム・シンポジウム
 主 催：計測自動制御学会
 期 日：1999年1月18日(月)～19日(火)
- (37) 第26回知能システムシンポジウム
 主 催：計測自動制御学会
 期 日：1999年3月24日(水)～25日(木)
- (38) 創価大学大学院工学研究科「情報システム先端技術講座」
 主 催：創価大学大学院工学研究科・先端技術研究教育アカデミー
 期 日：1999年4月～2000年2月
- (39) International Conference on Computers in Education (ICCE) '99
 主 催：Asia-Pacific Chapter (APC) of AACE
 期 日：1999年11月2日(火)～5日(金)
- (40) The Fourth Asian Fuzzy Systems Symposium (AFSS2000)
 主 催：日本ファジィ学会
 期 日：2000年5月10日～13日
- (41) IREX-1 (第1回 IREX 報告会)
 主 催：IREX 実行委員会
 期 日：1999年9月
- (42) 生体機構制御研究会発足記念研究会 - 動物に学び, 機械に学ぶ -
 主 催：生体機構制御研究会
 期 日：1999年1月23日(土)
- (43) 経営情報学会シンポジウム「複雑系とポリエージェントシステム論」
 主 催：経営情報学会
 期 日：1999年2月6日(土)
- (44) SICE セミナー「ロバスト制御入門」
 主 催：計測自動制御学会
 期 日：1999年2月16日(火)～17日(水)

- (45) 第1回複合現実感国際シンポジウム
主 催：日本バーチャルリアリティ学会
期 日：1999年3月9日(火)～11日(木)
- (46) Dynamics and Design Conference '99
主 催：日本機械学会
期 日：1999年3月16日(火)～19日(金)
- (47) 第9回歩行分析実習セミナー
主 催：臨床歩行分析研究会
期 日：1999年3月25日(木)～28日(日)
- (48) ロボティクス・メカトロニクス講演会99 (ROBOMECH '99)
主 催：日本機械学会
期 日：1999年6月11日(金)～13日(日)
- (49) 3次元画像コンファレンス'99
主 催：同実行委員会
期 日：1999年6月30日(水)～7月1日(木)
- (50) 第16回バイオメカニズム・シンポジウム
主 催：バイオメカニズム学会
期 日：1999年8月3日(火)～5日(木)
- (51) 第17回日本ロボット学会学術講演会
主 催：日本ロボット学会
期 日：1999年9月9日(木)～11日(土)
- (52) 第7回機械翻訳国際会議 (MT Summit VII)
主 催：アジア太平洋機械翻訳協会 (AAMT)
期 日：1999年9月13日(月)～17日(金)
- (53) Discovery Science 1999 (ALT'99 と併設)
主 催：特定領域研究 (A)「発見科学」領域
期 日：1999年12月6日(月)～8日(水)
- (54) 第6回アジア学術会議—科学者フォーラム
主 催：日本学術会議
期 日：1999年3月15日(月)～18日(木)
- (55) 日本学術会議50周年記念シンポジウム「設計の質的転換」
主 催：日本学術会議 人工物設計・生産研究連絡委員会
期 日：1999年5月12・13日
- (56) 日本学術会議50周年記念計測連合シンポジウム「先端計測 '99」
主 催：日本学術会議 工学共通基盤研究連絡委員会
期 日：1999年5月26日(水)～28日(金)
- (57) シンポジウム「洗濯の技術と文化」
主 催：日本人間工学会
期 日：1999年3月16日(火)～18日(木)
- (58) Digital Ware Osaka 1999
主 催：日本能率協会
期 日：1999年10月6日(水)～8日(金)
- (59) SICE セミナ「適応制御の基礎と発展」
主 催：計測自動制御学会
期 日：1999年3月8・9日
- (60) 第15回ファジィシステムシンポジウム (設立10周年記念大会)
主 催：日本ファジィ学会
期 日：1999年6月2日(水)～5日(土)
- (61) The Thirteenth International Conference on Industrial & Engineering Applications of Artificial Intelligence & Expert Systems (IEA/AIE-2000)
主 催：International Society of Applied Intelligence
期 日：2000年6月19日(月)～22日(木)
- (62) システム制御情報チュートリアル講座'99「LMIによるロボスト制御系」
主 催：システム制御情報学会

- 期 日：1999年6月8・9日
 (63) 電子情報通信学会セミナー「ヒューマンコミュニケーションのための顔大研究」
 主 催：電子通信情報学会
 期 日：1999年3月24日(水)
 (64) 第18回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス
 主 催：日本シミュレーション学会
 期 日：1999年6月14・15日

<会誌掲載・教官募集> 15件

- (01) 教官募集：筑波大学<経営・政策科学研究科 経営システム科学専攻>
 募集人数：教授または助教授1名
 応募締切：平成10年6月30日
- (02) 教官募集：豊橋技術科学大学<工学部情報工学系計算機工学講座>
 募集人数：教授1名
 応募締切：平成10年8月31日
- (03) 教官募集：京都大学<知能情報学専攻知能メディア講座音声メディア分野>
 募集人数：教授1名
 応募締切：平成10年8月31日
- (04) 教官募集：東京農工大学<工学部情報コミュニケーション工学科>
 募集人数：教授2名，助教授2～3名，助手1名
 応募締切：平成10年7月31日，9月30日
- (05) 通商産業省 工業技術院
 募集分野：化学，物理，電子，機械等
 応募締切：平成10年7月31日
- (06) 教官募集：北海道大学<大学院工学研究科電子情報工学専攻>
 募集人数：教授1名
 応募締切：平成10年9月30日(水)
- (07) 教官募集：茨城大学<工学部システム工学科>
 募集人数：助手1名
 応募締切：平成10年9月30日
- (08) 教官募集：山形大学<工学部電子情報工学科>
 募集人数：助手1名
 応募締切：平成10年10月15日
- (09) 教官募集：琉球大学<理学部物質地球科学科>
 募集人数：助教授または講師1名
 応募締切：平成10年10月30日
- (10) 教官募集：琉球大学<電気電子工学科>
 募集人数：電磁エネルギー工学講座 助手1名，電子物性工学講座 助手1名，
 電子システム工学講座 助手1名
 応募締切：平成10年11月30日
- (11) 教官募集：福岡工業大学<情報工学部情報システム工学科>
 募集人数：教授1名
 応募締切：平成10年12月15日
- (12) 教官募集：九州工業大学<情報工学部 知能情報工学科応用知能工学講座>
 募集人数：教授1名
 応募締切：平成11年3月31日
- (13) 教官募集：広島工業大学<電子工学科>
 募集人数：教授または助教授1名
 応募締切：平成11年2月末
- (14) 教官募集：岐阜大学<工学部応用情報学科>
 募集人数：助教授1名
 応募締切：平成11年3月31日
- (15) 教官募集：旭川医科大学<心理学>

募集人数：教授または助教授 1 名
応募締切：平成 11 年 4 月 30 日

10 会議

① 1998 年度第 13 回通常総会

6 月 18 日（木）に早稲田大学国際会議場で開催した。出席者は 480 名（委任状を含む）。1997 年度事業報告・決算報告・監事報告、1998 年度事業計画・予算、1998 年度役員・評議員構成などの議案審議、決裁を行った。

② 理事会

8 月、1 月を除く各月に計 10 回開催した。

③ 1998 年度評議員会

6 月 18 日（木）早稲田大学国際会議場で開催し、担当理事から活性化案の具体化と全国大会の改革に関する報告が行われ、意見交換を行った。出席者は 53 名（委任状を含む）。

④ 委員会

渉外委員会は研究集会審議委員会と総務委員会に、出版委員会は企画委員会にそれぞれ統合された。また、時限委員会である業績賞選定委員会と活性化委員会は、その責務を遂行し解散した。本年度は、功績賞・功労賞選定委員会が設立された。

一方、下記委員会は、それぞれ随時開催された。

電子化委員会、会誌編集委員会、研究会運営委員会、研究集会審議委員会、企画委員会、全国大会/同プログラム委員会、広報委員会、財務委員会、総務委員会

12 規程などの制定・改正・廃止、契約締結、覚書交換および認可など

下記の通り規程などの制定・改訂・廃止が行われた。

- ・総務委員会規程／1998 年 5 月 29 日 改正
- ・全国大会表彰規程／1998 年 5 月 29 日 改正
- ・全国大会表彰選定細則／1998 年 5 月 29 日 改正
- ・渉外委員会規程／1998 年 5 月 29 日 廃止
- ・研究集会審議委員会規程／1998 年 10 月 30 日 改正
- ・学術情報センター電子図書館サービスに係る覚書の変更／1998 年 12 月 4 日 交換

個人会員等の除名処分について

会費の徴収および学会機関誌の配布に関する細則に基づき、1997年度会費およびそれ以前の年度会費未納その他による個人会員114名を1998年度末をもって除名いたします。

入会年度	会費未納期限切			宛先不明期限切			退会保留期限切			合 計		
	正員	学生	計	正員	学生	計	正員	学生	計	正員	学生	計
1986	13	0	13	3	0	3	0	0	0	16	0	16
1987	7	0	7	3	0	3	1	0	1	11	0	11
1988	4	0	4	1	0	1	0	0	0	5	0	5
1989	5	0	5	3	0	3	0	0	0	8	0	8
1990	4	1	5	0	0	0	0	0	0	4	1	5
1991	4	0	4	1	0	1	1	0	1	6	0	6
1992	10	0	10	0	2	2	1	0	1	11	2	13
1993	4	2	6	0	1	1	0	0	0	4	3	7
1994	4	2	6	0	0	0	1	2	3	5	4	9
1995	5	6	11	0	5	5	1	1	2	6	12	18
1996	6	2	8	2	2	4	1	0	1	9	4	13
1997	1	2	3	0	0	0	0	0	0	1	2	3
1998	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	67	15	82	13	10	23	6	3	9	86	28	114

(社)人工知能学会1998年度決算報告書
(1998年4月1日から1999年3月31日)

貸借対照表

(1999年3月31日現在)

(単位：円)

1) 資産の部

科 目	金 額
1. 流動資産	68,548,711
(1)現金預金	
現金	6,319
預貯金	47,203,067
定期預金	11,344,929
(2)未収金	7,200,596
(3)前払金	16,800
(4)担保金	777,000
(5)貸出金	2,000,000
2. 固定資産	39,564,584
(1)定期預金	35,000,000
(2)入居保証金	4,344,000
(3)電話架設料	220,584
資 産 合 計	108,113,295

2) 負債の部

科 目	金 額
1. 流動負債	17,901,494
(1)前受金	16,617,000
(2)未払金	1,143,228
(3)預り金	101,266
(4)仮受金	40,000
2. 固定負債	29,756,101
(1)国際会議積立金	14,495,501
(2)AL T積立金	1,091,157
(3)退職金引当金	364,470
(4)会費未納分除却引当金	2,885,081
(5)事務所整備積立金	1,404,942
(6)記念事業引当金	2,014,333
(7)名簿発行準備金	805,491
(8)活性化積立金	6,695,126
負 債 合 計	47,657,595

3) 正味財産の部

科 目	金 額
1. 基本財産	35,000,000
2. 剰余金	25,455,700
正 味 財 産 合 計	60,455,700

4) 合計

負債および正味財産合計	108,113,295
-------------	-------------

財産目録
(1999年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 流動資産	68,548,711
(1) 現金預金	58,554,315
イ) 現金	
現金手持り高	6,319
ロ) 普通預金	
第一勧業銀行飯田橋支店 (会長口座)	18,444,399
郵便貯金 (会長口座)	420,270
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	1,710,555
第一勧業銀行飯田橋支店 (事務局長口座)	150,241
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	78,072
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	858,906
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	1,202,328
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	805,491
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	364,470
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	7,406,330
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	6,695,126
東京三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	1,000,449
ハ) 振替貯金 東京振替貯金局	8,066,430
ニ) 定期預金	
東京三菱銀行神楽坂支店	1,000,000
東京三菱銀行神楽坂支店	6,089,171
東京三菱銀行神楽坂支店	1,013,085
東京三菱銀行神楽坂支店	2,026,175
東京三菱銀行神楽坂支店	202,614
東京三菱銀行神楽坂支店	1,013,884
(2) 未収金	7,200,596
イ) '98入会金	21,000
ロ) '98会費	2,952,000
ハ) '98会誌別刷り	3,269,500
ニ) '98会誌印税	128,574
ホ) '98会誌広告料	110,250
ヘ) '98研究会登録料	340,000
ト) '98研究会別刷資料	233,000
チ) '98研究会参加費	15,000
リ) '98 J I C S T 許諾料	2,940
ス) '98 N A C S I データ料	45,832
セ) '98会誌等の頒布代	82,500
(3) 前払金	16,800
イ) セミナー	16,800
(4) 担保金	777,000
イ) 郵便物受取人払い担保金	777,000
(5) 貸出金	2,000,000
イ) 全国大会運営費	2,000,000
2. 固定資産	39,564,584
(1) 定期預金	35,000,000
(2) 入居保証金	4,344,000
(3) 電話架設料	220,584
資 産 合 計	108,113,295

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 流動負債	17,901,494
(1) 前受金	16,617,000
イ) 99年度入会金	31,000
ロ) 99年度会費	15,547,000
ハ) 研究会登録料	1,004,000
ニ) セミナー参加費	21,000
ホ) 海外航空手数料	14,000
(2) 未払金	1,143,228
イ) 会誌別刷り印刷費	522,966
ロ) 法定福利費	67,705
ハ) 臨時雇用費	164,640
ニ) 管理費	166,525
ホ) 事業費	221,392
(3) 預り金	101,266
(4) 仮受金	40,000
2. 固定負債	29,756,101
イ) 国際会議積立金	14,495,501
ロ) A L T 積立金	1,091,157
ハ) 退職金引当金	364,470
ニ) 会費未納分除却引当金	2,885,081
ホ) 事務所整備積立金	1,404,942
ヘ) 記念事業引当金	2,014,333
ト) 名簿発行準備金	805,491
チ) 活性化積立金	6,695,126
負 債 合 計	47,657,595
正 味 財 産	60,455,700
合 計	108,113,295

[1] 1998年度収支決算書

(1998年4月1日から1999年3月31日まで)

1) 収入

(単位：円)

	予算額	実算額	差引額
基本財産運用	140,000	122,500	▲ 17,500
入会金収入	335,000	325,000	▲ 10,000
正会員入会金	250,000	242,000	▲ 8,000
学生会員入会金	85,000	83,000	▲ 2,000
会費収入	45,388,000	45,624,000	236,000
正会員会費	30,480,000	30,424,000	▲ 56,000
学生会員会費	1,808,000	1,900,000	92,000
賛助会員会費	11,600,000	11,680,000	80,000
特殊購読会員会費	1,500,000	1,620,000	120,000
事業収入	28,558,000	33,208,640	4,650,640
会誌別刷料	12,060,000	17,189,750	5,129,750
会誌印税	771,000	771,444	444
全国大会参加費	10,070,000	9,489,187	▲ 580,813
セミナー参加費	812,000	648,000	▲ 164,000
会誌など頒布代	420,000	697,500	277,500
研究会登録料、他	3,825,000	3,764,500	▲ 60,500
その他	600,000	648,259	48,259
補助金収入	1,150,000	1,150,000	0
文部省補助金(会誌)	1,150,000	1,150,000	0
準備金取崩し	5,820,000	4,129,188	1,690,812
国際会議積立金	2,820,000	2,820,000	0
活性化積立金	2,500,000	809,188	1,690,812
A L T 積立金	500,000	500,000	0
雑収入	655,834	835,246	179,412
会誌広告料	480,000	602,700	122,700
郵送料他	10,000	19,050	9,050
受取利息	29,500	75,662	46,162
コピーライト	136,334	136,334	0
その他	0	1,500	1,500
当期収入合計	82,046,834	85,394,574	3,347,740
前期繰越収支差額	25,490,083	25,490,083	
収入合計	107,536,917	110,884,657	3,347,740

注：活性化積立金取り崩し額の内 529,188円は全国大会開催費の補助額である。

2) 支出

科目	予算額	実算額	差引額
事業費	44,100,554	43,116,695	▲ 983,859
会誌発行費	18,433,800	18,361,686	▲ 72,114
会誌別刷印刷費	2,362,500	2,653,732	291,232
ｽﾀｲﾙ・ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ作成費	200,000	0	▲ 200,000
会誌執筆謝礼	258,000	294,000	36,000
会誌発行諸経費	3,336,000	3,468,701	132,701
全国大会開催費	9,070,000	10,018,375	948,375
セミナー開催費	713,664	500,374	▲ 213,290
研究会、他開催費	3,561,590	3,964,599	403,009
広報活動費	100,000	24,000	▲ 76,000
電子化会議費	45,000	34,260	
表彰費	200,000	196,968	▲ 3,032
国際会議支援	3,320,000	3,320,000	0
活性化活動費	2,500,000	280,000	▲ 2,220,000
管理費	34,501,833	33,130,248	▲ 1,371,585
家賃	2,305,800	2,351,550	45,750
共益費	368,928	368,928	0
光熱費	264,000	237,530	▲ 26,470
リース料・保守・修理費	2,597,135	2,578,251	▲ 18,884
什器備品費	200,000	92,489	▲ 107,511
会議費	472,000	331,543	▲ 140,457
旅費交通費	201,000	119,960	▲ 81,040
通信費	2,412,000	2,848,315	436,315
印刷費	705,000	606,521	▲ 98,479
消耗品費	900,000	569,040	▲ 330,960
給料・手当	16,800,000	16,329,796	▲ 470,204
臨時雇用費	4,609,520	4,467,151	▲ 142,369
法定福利費	1,042,446	1,076,242	33,796
資料購入費	150,000	106,196	▲ 43,804
研修費	100,000	48,850	▲ 51,150
諸会費	111,800	77,500	▲ 34,300
保険料	10,000	9,750	▲ 250
OA維持費	600,000	385,729	▲ 214,271
福利厚生費	42,120	32,400	▲ 9,720
会費引落経費	180,000	168,522	▲ 11,478
外為手数料	10,000	7,900	▲ 2,100
支払い手数料	48,000	42,780	▲ 5,220
雑費	214,584	115,805	▲ 98,779
公認会計士費用	157,500	157,500	0
その他支出	2,348,000	2,642,500	294,500
会費未納分除却損	2,348,000	2,642,500	294,500
積立金繰り入れ支出	697,700	5,539,514	4,841,814
記念事業積立金	500,000	502,978	2,978
国際会議積立金		2,323,248	2,323,248
活性化積立金	0	2,504,314	2,504,314
事務所整備積立金		1,606	1,606
退職金引当金	197,700	197,865	165
会費未納除却分引当金	0	5,892	5,892
名簿発行準備金	0	801	801
AL T積立金	0	2,810	2,810
J K A W積立金	0	0	0
予備費	0	0	0
当期支出合計	81,648,087	84,428,957	2,780,870
次期繰越収支差額	25,888,830	26,455,700	566,870
支出合計	107,536,917	110,884,657	3,347,740

注：当期収支差額は +965,617円である。

〔 2 〕 正味財産増減計算の部

(1998年4月1日～1999年3月31日)

1) 増加の部 (単位：円)

科 目	実算額
当期収支差額	965,617
当期増減差額	
増加額合計	965,617

2) 減少の部

科 目	実算額
当期収支差額	0
当期増減差額	0
減少額合計	0

3) 合計の部

科 目	実算額
当期正味財産増加額	965,617
前期繰越正味財産額	59,490,083
期末正味財産合計額	60,455,700

監査報告書

1999年5月28日

(社)人工知能学会
会長 白井 克彦 殿

監事 後藤 敏



監事 河田 勉



1998年度決算報告書について厳正に監査しました結果、適正に処理され、
妥当であることをご報告いたします。

以 上

1999 年度事業計画 (案)

1 運営・活動方針

定款の目的に沿って、会誌の隔月発行、全国大会(第13回)、国際会議、セミナー、講演会の開催、ワークショップなどの研究活動の推進、業績賞・学会論文賞・研究奨励賞・全国大会優秀論文賞・ベストプレゼンテーション賞の表彰、ならびに他学会および海外関連団体との協調による学会活動の活性化、多様化を推進するとともに、引き続き組織基盤の強化・拡充に努めて会員サービスの充実を図る。

研究会活動は、8研究会で一層の充実をはかり、12月にはAIシンポジウム99を開催する。人工知能セミナーは、年2回開催する。

2 会誌の発行

- ① 第14巻3号(通巻75号)1999年5月1日発行
小特集「エンジニアリングへの応用：研究と現場の溝を越えて」の解説5編と座談会記録、解説1編、AIマップ「人間の非論理的情報をAIはどう取り扱うか」のコメントと回答、論文12編、ショートノート2編、他
- ② 第14巻4号(通巻76号)1999年7月1日発行
小特集「モバイルコンピューティングとエージェント」、解説1編、AIマップ「明示的理解に魅せられて」、論文10編、ショートノート1編、技術資料1編、他
- ③ 第14巻5号(通巻77号)1999年9月1日発行
特集「計算学習理論の進展と応用可能性」、解説1編、AIマップ「明示的理解に魅せられて」のコメントと回答、論文9編、他
- ④ 第14巻6号(通巻78号)1999年11月1日発行
特集「創造的ネットワーク化情報環境に向けて」、論文特集「オントロジーの基礎と応用」、解説1編、論文(14編予定)、他
- ⑤ 第15巻1号(通巻79号)2000年1月1日発行
特集「分子生物情報学の新展開」、ショートペーパー特集「近未来チャレンジ」、論文(8編予定)、他
- ⑥ 第15巻2号(通巻80号)2000年3月1日発行
小特集「高度道路交通システム(ITS)とAI」、解説2編、AIマップ、論文(8編予定)、他

3 全国大会(第13回)の開催

- ・日時：1999年6月15日(火)～18日(金)
- ・場所：早稲田大学・国際会議場(東京・西早稲田)
- ・構成：
 - ① 特別講演：「生物現象の諸階層構造—上位階層の新機能はどのようにして生じるのか」 団 まりな(大阪市立大)
 - ② 招待講演：「人工知能およびロボット研究の新展開」 井上 博允(東京大学)
「大学における研究、企業における研究—情報産業立国をめざして」
所 真理雄(ソニー CSL)
 - ③ AI レクチャー 7件
・「Global Teamwork」
Renate Fruchter(Stanford University)

- ・「人工現実から複合現実へーサイバースペースと実世界との関わり」
田村 秀行 (MR システム研究所)
- ・「人間行動観察学習システム」
池内 克史 (東京大学)
- ・「人工生命と進化システム」
下原 勝憲 (NTT & ATR)
- ・「ゲノム情報に基づく細胞の再構築」
富田 勝 (慶応義塾大学)
- ・「社会科学を実験科学に」
寺野 隆雄 (筑波大学)
- ・「インテリジェントコンテンツと知の共有化」
橋田 浩一 (電子技術総合研究所)

④ パネルディスカッション

「人工知能のエンジニアリングへの応用：使いこなしと未来への飛躍」

司 会 富山哲男 (東京大学)

パ ーチスト 末田直道 (東芝), 辻野克彦 (三菱電機), 大力修 (新日本製鐵)

宮本裕一 (川崎重工業), 西田豊明 (東京大学), 鷺尾隆 (大阪大学)

⑤ 特別セッション

- ・「ロボカップ 99 世界大会に向けて」
- ・「知的学習支援システム構築法の共有を目指して」
- ・「Cross-Media と情報統合ー RWC 実世界知能技術」
- ・「IREX : Information Retrieval and Extraction Exercise」
- ・「生命理解のための ABC ー人工生命 (A) 分子生物 (B) 情報 (C) の立場から見た生命現象を解明するための方法論について」
- ・「コミュニケーションのリアリティ」
- ・「知識発見研究の現状と展望」

⑥ 実用 AI 体験ラボ (6 件)

⑦ 近未来チャレンジ

- ・「データと知識」 5 件
- ・「認知科学とその応用」 5 件
- ・「社会情報システム」 4 件

⑧ チュートリアル 3 テーマ

- ・「データマイニング～3つの側面～」
- ・「知的情報資源」
- ・「エンタープライズ組織と AI」

- ⑧ 一般口頭発表 152 件
- 一般デジタルポスタ発表 32 件

4 研究会の開催

① 人工知能基礎論研究会

第 37 回 沖縄 7 月 発見科学、一般基礎論

第 38 回 北海道 9 月 知識発見とデータマイニングー基礎と応用ー (KBS 合同)

第 39 回 東京 11 月 メディアと人工知能、一般基礎論

第 40 回 北陸 3 月 ナレッジウェア、一般基礎論

全国大会特別セッション (FAI/KBS 合同特別セッション)

ベンチマークとパネル討論会：知識発見研究の現状と展望

第 1 セッション (KBS)：共通データに基づく知識発見手法の比較と評価

第 2 セッション (FAI)：知識発見手法の比較評価と今後の展望

- ② 知識ベースシステム研究会
 第44回 東京 6月 スケジューリングとAI
 第45回 北海道 9月 知識発見とデータマイニング基礎と応用(FAI合同)
 第46回 静岡 1月 オントロジーの基礎と応用
 第47回 関西 3月 インターネットとAI

- ③ 言語・音声理解と対話処理研究会
 第26回 関西 6月 テーマを絞った研究会
 第27回 熱海 10月 合宿形式のワークショップ
 第28回 東京 2月 談話タグWGの成果報告会

- ④ 知的教育システム研究会
 第26回 東京 5月 グループ学習/一般
 第27回 佐賀 10月 WWW/情報ネットワークと知的教育システム
 第28回 静岡 3月 言語処理応用とヒューマンインターフェース学習支援
 若手の会 伊万里 12月

- ⑤ AIチャレンジ研究会(第2種研究会)
 第6回 名古屋 5月 ロボカップ
 第7回 全国大会 6月 特別セッション
 第8回 東京 11月 音環境理解
 第9回 東京 2月 インターネット、GDA

- ⑥ 情報統合研究会(第2種研究会)
 第10回 RWC 7月 マルチエージェントによる情報統合
 第11回 電総研 11月 attention, focusingのための情報統合
 第12回 RWC 3月 システム、環境、タスク統合のためのアーキテクチャ

- ⑦ 分子生物情報研究会(第2種研究会)
 第7回 東京 5月
 第8回 奈良 9月
 第9回 つくば 2月
 第10回 北陸 3月
 6月の全国大会で特別セッション
 12月にAIシンポジウム(早大国際会議場)に参加

- ⑧ ことば工学研究会(新設)(第2種研究会)
 第2回 関西 7月
 第3回 東京 12月

- ⑨ AIシンポジウム
 12月 早大国際会議場 テーマ1)分子生物情報研究会担当
 テーマ2)ナレッジマネジメントとその支援技術
 合同研究会廃止に伴い大幅に拡充予定。地方開催を計画。

5 シンポジウム・ワークショップの開催

- ① ロボカップジャパンオープン99
 期日 1999年5月1日(土)~3日(月)
 場所 名古屋国際会議場
 主催 人工知能学会、ロボカップ日本委員会、日本経済新聞社他
 構成 スtockホルムで開催のロボカップ99に向けての競技会と研究討論

② 第10回計算学習理論国際ワークショップ (ALT99)

期 日 1999年12月6日(月)～8日(水)
場 所 東京工業大学百年記念館
共 催 2nd International Conference on Discovery Science(DS99)
構 成 招待講演3件, 一般講演表約25件
参加者 70名の参加を予定

③ 第17回設計シンポジウム

期 日 1999年7月5日(月)～6日(火)
場 所 東京大学山上会館
共 催 日本設計工学会(幹事), 精密工学会, 人工知能学会, 日本機械学会
構 成 特別講演1件, 一般講演 21件

6 セミナーなどの開催

① 第38回人工知能セミナー

- ・テーマ:「視覚と知能:人工システムへの設計論」
- ・日 時:1999年5月21日(金) 10時30分～16時40分
- ・場 所:東京大学生産技術研究所 第一会議室
〒106-8588 東京都港区六本木7-22-1
- ・協 賛:情報処理学会, 電子情報通信学会, 計測自動制御学会, 日本機械学会,
精密工学会, 日本ロボット学会, 自動車技術会, 日本ソフトウェア科学
会, 映像情報メディア学会, 日本設計工学会, 日本シミュレーション学
会, システム情報制御学会, 経営情報学会, 日本OR学会, 日本認知科
学会, (順不同)

プログラム

- ・視覚認知システムの設計原理を考える
乾 敏郎氏 (京都大学大学院情報学工学研究科 教授)
- ・分散協調視覚一視覚・行動・コミュニケーション機能の統合による知能の創発一
松山 隆司氏 (京都大学大学院情報学工学研究科 教授)
- ・人工網膜 LSI の開発と事業化
久間 和生氏 (三菱電機(株))
- ・高速画像検索:アクティブ探索法
村瀬 洋氏 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所)
- ・パネルディスカッション

② 第39回人工知能セミナー

未定

7 1999年度の表彰

学会規程に基づき1999年度は以下の賞を贈呈する。

- ① 業績賞
- ② 学会論文賞
- ③ 研究奨励賞
- ④ 全国大会優秀論文賞・ベストプレゼンテーション賞

8 共催, 協賛, 後援など

昨年度に引き続き, 他学会との協調により学会活動の活性化, 多様化を推進する。

9 会議

① 1999 年度第 14 回通常総会
6 月 16 日（水）早稲田大学国際会議場で開催

② 理事会
8 月，1 月を除く各月に計 10 回開催

③ 1999 年度評議員会
6 月 16 日（水）早稲田大学国際会議場で開催

④ 委員会
会誌編集委員会，研究会運営委員会，研究集会審議委員会，企画委員会，全国大会/同プログラム委員会，広報委員会，財務委員会，総務委員会，活性化委員会，業績賞選定委員会をそれぞれ随時開催

10 規程など制定・改正・廃止，契約締結，覚書交換および認可など

- ・定款の改正／1999 年 6 月 16 日 改正
- ・全国大会規程／1999 年 5 月 28 日 改正
- ・広報委員会規程／1999 年 5 月 28 日 改正
- ・会員の発議による研究集会等開催に関する細則／1999 年 5 月 28 日 改正
- ・社団法人 人工知能学会・新役員登記（1999/07）

11 1999 年度役員構成（案）

別紙参照

12 1999 年度評議員構成（案）

別紙参照

1 9 9 9 年 度 予 算 書 (案)

(1999年4月1日から2000年3月31日まで)

1) 収入の部

科 目		予算額	前年度予算	対前年度差異	備 考
基本財産運用		350,000	140,000	210,000	
入 会 金	正会員入会金	200,000	250,000	-50,000	100名(②,000)
	学生会員入会金	80,000	85,000	-5,000	80名(①,000)
	小計	280,000	335,000	-55,000	
会 費 収 入	正会員会費	30,300,000	30,480,000	-180,000	3,030名(⑩,000)
	学生会員会費	1,840,000	1,808,000	32,000	460名(④,000)
	賛助会員会費	11,200,000	11,600,000	-400,000	140口(⑧0,000)
	特殊購読会員会費	1,575,000	1,500,000	75,000	105団体(⑩15,000)
	小計	44,915,000	45,388,000	-473,000	
事 業 収 入	会誌別刷料	14,304,000	12,060,000	2,244,000	
	会誌印税	771,000	771,000	0	
	全国大会参加費	8,560,000	10,070,000	-1,510,000	
	セミナー参加費	700,000	812,000	-112,000	
	会誌など頒布代	320,000	420,000	-100,000	
	研究会登録料、他	3,238,000	3,825,000	-587,000	
	その他	580,000	600,000	-20,000	
小計	28,473,000	28,558,000	-85,000		
補 助 金 収 入	文部省補助金(会誌)	970,000	1,150,000	-180,000	
	小計	970,000	1,150,000	-180,000	
準 備 金 取 崩 し	国際会議積立金	0	2,820,000	-2,820,000	
	活性化積立金	2,500,000	2,500,000	0	
	A.L.T積立金	1,091,923	500,000	591,923	
	小計	3,591,923	5,820,000	-2,228,077	
雑 収 入	会誌広告料	330,750	480,000	-149,250	
	郵送料他	10,000	10,000	0	
	受取利息	32,000	29,500	2,500	
	コピーライト	140,000	136,334	3,666	
	その他	0	0	0	
	貸出金返却	0	0	0	
小計	512,750	655,834	-143,084		
当期収入合計		79,092,673	82,046,834	-2,954,161	
前期繰越収支差額		26,455,700	25,490,083	965,617	
収入合計		105,548,373	107,536,917	-1,988,544	

2) 支出の部

科 目	予算額	前年度予算額	対前年度差異	備 考
会誌発行費	18,600,000	18,433,800	166,200	
会誌別刷印刷費	1,716,480	2,362,500	-646,020	
サイト・ファイル作成費	200,000	200,000	0	
会誌執筆謝礼	258,000	258,000	0	
会誌発行諸経費	3,536,000	3,336,000	200,000	
全国大会開催費	8,560,000	9,070,000	-510,000	
セミナー開催費	642,442	713,664	-71,222	
研究会、他開催費	3,471,647	3,561,590	-89,943	
広報活動費	27,000	100,000	-73,000	
電子化会議費	46,000	45,000	1,000	
表彰費	200,000	200,000	0	
会議費	0	0	0	
IJCAI-97分担金	0	0	0	
国際会議支援	1,091,923	3,320,000	-2,228,077	A L T 積立金
活性化活動費	2,500,000	2,500,000	0	
小計	40,849,492	44,100,554	-3,251,062	
家賃	2,305,800	2,305,800	0	
共益費	368,928	368,928	0	
光熱費	255,000	264,000	-9,000	
リース料・保守・修理費	2,213,931	2,597,135	-383,204	
什器備品費	100,000	200,000	-100,000	
会議費	435,000	472,000	-37,000	
旅費交通費	135,000	201,000	-66,000	
通信費	2,748,188	2,412,000	336,188	
印刷費	599,587	705,000	-105,413	
消耗品費	834,592	900,000	-65,408	
給料・手当	17,530,000	16,800,000	730,000	
臨時雇用費	4,644,145	4,609,520	34,625	
法定福利費	1,080,765	1,042,446	38,319	
資料購入費	146,471	150,000	-3,529	
研修費	100,000	100,000	0	
諸会費	76,500	111,800	-35,300	
保険料	9,750	10,000	-250	
O A 維持費	300,000	600,000	-300,000	
福利厚生費	30,240	42,120	-11,880	
会費引落経費	145,000	180,000	-35,000	
外為手数料	7,900	10,000	-2,100	
支払い手数料	44,535	48,000	-3,465	
雑費	106,964	214,584	-107,620	
雑損失	0	0	0	
公認会計士費用	157,500	157,500	0	
小計	34,375,796	34,501,833	-126,037	
会費未納分除却損	2,800,000	2,348,000	452,000	
小計	2,800,000	2,348,000	452,000	
記念事業積立金	0	500,000	-500,000	
国際会議積立金	0	0	0	
活性化積立金	0	0	0	
事務所整備積立金	0	0	0	
退職金引当金	754,373	197,700	556,673	
会費未納除却分引当金	0	0	0	
名簿発行準備金	0	0	0	
A L T 積立金	0	0	0	
J K A W 積立金	0	0	0	
小計	754,373	697,700	56,673	
予備費	0	0	0	
当期支出合計	78,779,661	81,648,087	-2,868,426	
次期繰越収支差額	26,768,712	25,888,830	879,882	
支出合計	105,548,373	107,536,917	-1,988,544	

定款の改正（案）

人工知能学会 総務委員会

当会のような社団法人や財団法人は、民法で公益法人として位置づけられておりますが、これら公益法人のあり方について、閣議により「公益法人の設置基準及び指導監督基準」が決定され、平成11年9月末までに、この基準に適合させるよう全学協会に対して指導がありました。

学協会にとってもっとも適合が困難な課題は、「総会の成立要件（定足数及び議決数）を、最低でも過半数以上とする必要がある」という運用指針でしたが、昨年6月30日の文部省主催の学会法人連絡協議会における指導により、代表社員制を採用することで解決する目処が立ちましたので、この線に沿って改正案を作成しました。

改正案では、選挙によって選任された役員および評議員をもって民法上の社員とし、総会は社員の過半数の出席をもって成立する、ということにいたしました。本来、総会は学会の最高議決機関ですので正会員をもって組織するべきではありますが、昨年度の総会の出席者は委任状を含めて正会員及び名誉会員現在数の17%であり、これを50%以上にするには極めて難しいと考えられます。事情をご察察の上、ぜひご理解をたまわりたいと存じます。なお、正会員ならび名誉会員の総会への出席及び発言は可能です。ぜひ多数ご出席ください。

以下に、新旧の対照表を掲げますので、ご審議をお願いします。

(変更箇所のみ記載)

新

旧

1990年6月29日 制定

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、社団法人人工知能学会という。

(事務所)

第2条 この法人は、事務所を、東京都新宿区津久戸町4-7 OSビル内に置く。

(支部)

第3条 この法人は、理事会の議決を経て、必要の地に支部を置くことができる。

第2章 目的及び事業

(目的)

第4条 この法人は、人工知能に関する研究の進展と知識の普及を図り、もって学術の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第5条 この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 学術集会、学術講演会、講習会等の開催
- (2) 学会誌、英文誌その他の刊行物の発行
- (3) 研究の奨励及び研究業績の表彰
- (4) 研究及び調査
- (5) 国内外の関係学術団体との連絡及び協力
- (6) その他目的を達成するために必要な事業

第3章 会員

(会員の種別)

第6条 この法人の会員は、次のとおりとする。

(会員の種別)

第6条 この法人の会員は、次のとおりとする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人
- (2) 学生会員 学生であって、この法人の目的に賛同して入会した個人
- (3) 賛助会員 この法人の事業を援助する個人又は団体
- (4) 特殊購読会員 この法人の目的に賛同し、この法人の発行する会誌を広く閲覧するために定期購読する図書館等の団体
- (5) 名誉会員 この法人に特に功勞のあった者で総会の議決をもって推薦された者

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人
- (2) 学生会員 学生であって、この法人の目的に賛同して入会した個人

- (3) 賛助会員 この法人の事業を援助する個人又は団体
- (4) 特殊購読会員 この法人の目的に賛同し、この法人の発行する会誌を広く閲覧するために定期購読する図書館等の団体

- (5) 名誉会員 この法人に特に功勞のあった者で総会の議決をもって推薦された者

(入会)

第7条 会員になろうとする者は、入会申込書を会長に提出し、理事会の承認を受けなければならない。ただし、名誉会員に推薦された者は、入会の手続を要せず、本人の承諾をもって会員となるものとする。

2 正会員のうち、役員と評議員をもって、民法上の社員とする。

(入会金及び会費)

第8条 この法人に入会し、会員になろうとする者は、入会金および会費を支払わなければならない。

2 入会金及び会費に関する規程は、理事会及び総会の議決を経て別に定める。

3 名誉会員は、入会金及び会費を納めることを要しない。

4 既納の入会金及び会費は、いかなる事由があっても返還しない。

(資格の喪失)

第9条 会員は、次の事由によってその資格を喪失する。

(1) 退会したとき。

(2) 禁治産若しくは準禁治産又は破産の宣告を受けたとき。

(3) 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は団体である会員が解散したとき。

(4) 除名されたとき。

(退 会)

第 10 条 会員が退会しようとするときは、理由を付して退会届を会長に提出しなければならない。

(除 名)

第 11 条 会員が次の各号の一に該当するときは、総会の議決を経て、会長が除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) この法人の名誉を傷つけ、又はこの法人の目的に違反する行為があったとき。
- (2) この法人の会員としての義務に違反したとき。
- (3) 会費を 2 年以上滞納したとき。

第 4 章 役員、評議員及び職員

(役 員)

第 12 条 この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理事 15 名以上、20 名以内 (うち会長 1 名、副会長 2 名以内)
- (2) 監事 2 名

(役員を選任)

第 13 条 会長、副会長、理事及び監事は、総会において正会員及び名誉会員により選任する。

- 2 特定の理事とその親族その他特別の関係のある者の合計数は、理事現在数の 3 分の 1 を超えてはならない。
- 3 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。

(理事の職務)

第 14 条 会長は、この法人の業務を総理し、この法人を代表する。

- 2 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名した順序により副会長がその職務を代理し、又はその職務を行う。
- 3 副会長は、会長を補佐し、理事会の議決に基づき、日常の業務に従事し、総会の議決した事項を処理する。
- 4 理事は、理事会を組織して、この定款に定めるもののほか、この法人の総会の権限に属せしめられた事項以外の事項を議決し、執行する。

(監事の職務)

第 15 条 監事は、この法人の業務及び財産に関し、次の各号に規定する職務を行う。

- (1) この法人の財産の状況を監査すること。
- (2) 理事の業務執行の状況を監査すること。
- (3) 財産の状況又は業務の執行について不整の事実を発見したときは、これを理事会、総会又は文部大臣に報告すること。
- (4) 前号の報告をするために必要があるときは、理事会または総会を招集すること。

(役員任期)

第 16 条 この法人の役員任期は、2 年とする。ただし、毎年その半数を改選する。

- 2 会長及び副会長を除く役員は、連続 2 期を越えない範囲での再任を妨げない。
- 3 補欠又は増員により選任された役員任期は、前任者または現任者の残任期間とする。
- 4 役員は、その任期満了後も後任者が就任するまでは、なおその職務を行う。

(役員解任)

第 17 条 役員が次の各号の一つに該当するときは、理事現在数および正会員現在数の各々の 4 分の 3 以上の議決により、会長がこれを解任することができる。この場合、その役員に対し、議決する前に、弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 心身の故障のため職務の執行に堪えないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員たるにふさわしくない行為があると認められるとき。

(役員報酬)

第 18 条 役員は、有給とすることができる。

- 2 役員報酬は、理事会の議決を経て会長が定める。

(評議員)

第 19 条 この法人には、評議員 30 名以上 100 名以内を置くことができる。

- 2 評議員は、総会において正会員の中から選任する。
- 3 評議員は、役員を兼ねることができない。
- 4 評議員には、第 16 条及び第 17 条の規程を準用する。この場合において、「役員」とあるのは、「評議員」と読み替えるものとする。

(評議員の職務)

第 20 条 評議員は、評議員会を組織し、会長の諮問に応じ、この法人の事業の遂行について会長に助言する。

(役員を選任)

第 13 条 会長、副会長、理事及び監事は、総会において選任する。

- 2 特定の理事とその親族その他特別の関係のある者の合計数は、理事現在数の 3 分の 1 を超えてはならない。
- 3 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。

(評議員)

第 19 条 この法人には、評議員 60 名以上 100 名以内を置くことができる。

- 2 評議員は、総会において正会員の中から選任する。
- 3 評議員は、役員を兼ねることができない。
- 4 評議員には、第 16 条及び第 17 条の規程を準用する。この場合において、「役員」とあるのは、「評議員」と読み替えるものとする。

(職員)

第21条 この法人の事務を処理するため、必要な職員を置く。

- 2 職員は、会長が任免する。
- 3 職員は、有給とする。

第5章 会議

(理事会の招集等)

第22条 理事会は、毎年10回会長が招集する。ただし、会長が必要と認めるとき、または理事現在数の3分の1以上から会議に付議すべき事項を示して理事会の招集を請求されたときは、会長は、その請求があった日から30日以内に臨時理事会を招集しなければならない。

- 2 理事会の議長は、会長とする。

(理事会の定足数等)

第23条 理事会は、理事現在数の3分の2以上の者が出席しなければ議事を開き議決することができない。ただし、当該議事につき書面をもってあらかじめ意志表示をした者は、出席者とみなす。

2 理事会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、出席理事の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(評議員会)

第24条 評議員会は、会長が招集する。

2 評議員会の議長は、その評議員会において、出席評議員の互選で定める。

3 評議員会には、前条の規程を準用する。この場合において、「理事会」及び「理事」とあるのは、それぞれ「評議員会」及び「評議員」と読み替えるものとする。

(総会の構成)

第25条 総会は、正会員及び名誉会員をもって組織する。

(総会の招集)

第26条 通常総会は、毎年1回会長が招集する。

- 2 臨時総会は、理事会が必要と認めるとき、会長が招集する。
- 3 前項のほか、正会員及び名誉会員現在数の5分の1以上から会議に付議すべき事項を示して総会の招集を請求されたときは、会長は、その請求があった日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。
- 4 総会を招集するときは、少なくとも10日以前に、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、通知しなければならない。

2 臨時総会は、理事会が必要と認めるとき、会長が招集する。

3 前項のほか、正会員及び名誉会員現在数の5分の1以上から会議に付議すべき事項を示して総会の招集を請求されたときは、会長は、その請求があった日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。

4 総会を招集するときは、少なくとも10日以前に、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、通知しなければならない。

(総会の議長)

第27条 総会の議長は、会議のつど、出席正会員及び名誉会員の互選で定める。

(総会の議決事項)

第28条 総会は、この定款に別に定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 事業計画及び収支予算についての事項
- (2) 事業報告及び収支決算についての事項
- (3) 財産目録及び貸借対照表についての事項
- (4) その他この法人の業務に関する重要事項で理事会において必要と認めるもの

(総会の定足数等)

第29条 総会は、正会員及び名誉会員現在数の10分の1以上の者が出席しなければ、その議事を開き議決することができない。ただし、当該事項につき書面をもってあらかじめ意志を表示した者及び他の正会員又は名誉会員を代理人として表決を委任した者は、出席者とみなす。

2 総会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、正会員及び名誉会員である出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(会員への通知)

第30条 総会の議事の要領及び議決した事項は、全会員に通知する。

(議事録)

第31条 すべての会議には、議事録を作成し、議長及び出席者の代表2名以上が署名押印の上、これを保存する。

第6章 資産及び会計

(資産の構成)

第32条 この法人の資産は、次のとおりとする。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された財産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 資産から生ずる収入
- (4) 事業に伴う収入
- (5) 寄付金品
- (6) その他の収入

(総会の構成)

第25条 総会は、社員をもって組織する。

(総会の招集)

第26条 通常総会は、毎年1回会長が招集する。

- 2 臨時総会は、理事会が必要と認めるとき、会長が招集する。
- 3 前項のほか、社員現在数の5分の1以上から会議に付議すべき事項を示して総会の招集を請求されたときは、会長は、その請求があった日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。
- 4 総会を招集するときは、少なくとも10日以前に、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、通知しなければならない。

2 臨時総会は、理事会が必要と認めるとき、会長が招集する。

3 前項のほか、社員現在数の5分の1以上から会議に付議すべき事項を示して総会の招集を請求されたときは、会長は、その請求があった日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。

4 総会を招集するときは、少なくとも10日以前に、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、通知しなければならない。

(総会の議長)

第27条 総会の議長は、会議のつど、出席社員の互選で定める。

(総会の定足数等)

第29条 総会は、社員現在数の過半数以上の者が出席しなければ、その議事を開き議決することができない。ただし、当該事項につき書面をもってあらかじめ意志を表示した者及び他の社員を代理人として表決を委任した者は、出席者とみなす。

2 総会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、社員である出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

ただし、正会員及び名誉会員は総会に出席し発言することができる。

(資産の種類)

第 33 条 この法人の資産を分けて、基本財産および運用財産の 2 種類とする。

2 基本財産は、次に掲げるものをもって構成する。

(1) 設立当初の財産目録中基本財産の部に記載された財産

(2) 基本財産とすることを指定して寄付された財産

(3) 理事会で基本財産に繰り入れることを議決した財産

3 運用財産は、基本財産以外の資産とする。

(資産の管理)

第 34 条 この法人の資産は、会長が管理し、基本財産のうち現金は、理事会の議決を経て定期預金とする等確実な方法により、会長が保管する。

(基本財産の処分の制限)

第 35 条 基本財産は、譲渡し、交換し、担保に供し、又は運用財産に繰り入れてはならない。ただし、この法人の事業遂行上やむを得ない理由があるときは、理事会及び総会の議決を経、かつ、文部大臣の承認を受けて、その一部に限りこれらの処分をすることができる。

(経費の支弁)

第 36 条 この法人の事業遂行に要する経費は、運用財産をもって支弁する。

(事業計画および収支予算)

第 37 条 この法人の事業計画及びこれに伴う収支予算は、会長が構成し、理事会及び総会の議決を経て、毎年会計年度開始前に、文部大臣に届け出なければならない。事業計画及び収支予算を変更しようとする場合も同様とする。

(収支決算)

第 38 条 この法人の収支決算は、会長が作成し、財産目録、貸借対照表、事業報告書及び財産増減理由書並びに会員の異動状況書とともに、監事の意見を付け、理事会及び総会の承認を受けて、毎会計年度終了後 3 カ月以内に文部大臣に報告しなければならない。

2 この法人の収支決算に剰余金があるときは、理事会の議決及び総会の承認を受けて、その一部若しくは全部を基本財産に繰入し、又は翌年度に繰り越すものとする。

(長期借入金)

第 39 条 この法人が借入れをしようとするときは、その会計年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、理事会及び総会の議決を経、かつ、文部大臣の承認を受けなければならない。

(新たな義務の負担等)

第 40 条 第 35 条ただし書及び前条の規定に該当する場合並びに収支予算で定めるものを除くほか、この法人が新たな義務の負担又は権利の放棄のうち重要なものを行おうとするときは、理事会及び総会の議決を経なければならない。

(会計年度)

第 41 条 この法人の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

第 7 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第 42 条 この定款は、理事会における理事現在数の 4 分の 3 以上の議決及び総会における出席者数の 4 分の 3 以上の議決を経、かつ、文部大臣の認可を受けなければ変更することはできない。

(解散)

第 43 条 この法人の解散は、理事会における理事現在数の 4 分の 3 以上の議決及び総会における出席者数の 4 分の 3 以上の議決を経、かつ、文部大臣の許可を受けなければならない。

(残余財産の処分)

第 44 条 この法人の解散に伴う残余財産は、理事会における理事現在数の 4 分の 3 以上の議決及び総会における出席者数の 4 分の 3 以上の議決を経、かつ、文部大臣の許可を受けて、この法人と類似の目的を有する公益法人に寄付するものとする。

1999年度役員構成（案）

役職名	種別	氏名	所属
会長	留任	白井 克彦	早稲田大学 常任理事 教授
副会長	留任	白井 良明	大阪大学大学院 工学研究科 教授
副会長	新任	石黒 辰雄	日本電気（株）取締役支配人
理事	留任	浅田 稔	大阪大学大学院 工学研究科 教授
理事	新任	石田 亨	京都大学大学院 情報学研究科 教授
理事	留任	岩野 和生	日本アイ・ビー・エム（株） 東京基礎研究所 所長
理事	新任	梶 博行	（株）日立製作所 中央研究所 主任研究員
理事	留任	國藤 進	北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科 教授
理事	留任	小林 重信	東京工業大学大学院 総合理工学研究科 教授
理事	新任	下原 勝憲	NTTコミュニケーション科学基礎研究所 社会情報研究部 部長
理事	留任	白鳥 則郎	東北大学 電気通信研究所 教授
理事	留任	管村 昇	（株）NTTデータ 人材開発部 部長
理事	新任	寺野 隆雄	筑波大学 経営システム科学専攻 教授
理事	新任	富田 勝	慶應義塾大学 環境情報学部・医学部 教授
理事	留任	中島 秀之	電子技術総合研究所 情報科学部 部長
理事	留任	林 英也	沖電気工業（株） 研究開発本部 関西総合研究所 所長
理事	新任	坂内 広蔵	（財）電力中央研究所 情報研究所 上席研究員
理事	新任	平井 和雄	（株）本田技術研究所 常務取締役
理事	新任	堀 浩一	東京大学 先端学際工学専攻 教授
理事	新任	毛利 友治	（株）富士通研究所 情報科学研究部 部長
監事	留任	河田 勉	（株）東芝 デジタルメディア機器社 情報サービス事業推進室 室長
監事	新任	川田 圭一	三菱電機（株） 情報総合技術研究所 主管技師長

（理事は五十音順，敬称略）

1998年度末退任役員名簿

役職名	氏名	所属
副会長	野間口 有	三菱電機（株） 常務取締役
理事	池内 克史	東京大学 生産技術研究所 教授
理事	石崎 俊	慶応義塾大学 環境情報学部 教授
理事	加藤 守利	東京電力（株） システム研究所 数理解析グループマネージャー
理事	田中 和世	電子技術総合研究所 知能情報部 総括主任研究官
理事	中村 徳彦	トヨタ自動車（株） B R F E室 室長
理事	西田 豊明	東京大学大学院 工学研究科 教授
理事	服部 文夫	N T Tソフトウェア（株） エレクトロニック技術センター 所長
理事	増位 庄一	（株）日立製作所 研究開発本部 部長
理事	松尾 和洋	（株）富士通研究所 コンピュータシステム研究所 主席研究員
監事	後藤 敏	日本電気（株） 支配人

（理事は五十音順，敬称略）

1999年度評議員構成（案）

秋藤 俊介	新任	(株)日立製作所 システム開発研究所
阿曾 弘具	留任	東北大学大学院 工学研究科 電気・通信工学専攻
阿部 圭一	留任	静岡大学 情報学部 情報科学科
雨宮 真人	再任	九州大学大学院 システム情報科学研究科
飯田 敏幸	留任	日本電信電話(株) 長距離国際会社移行本部
池田 克夫	再任	京都大学大学院 情報学研究科
石井 義則	再任	コソパ [®] コンピュータ(株) システム統括本部
石川 勉	留任	拓殖大学 工学部 情報工学科
石塚 満	再任	東京大学 工学部 電子工学科
磯崎 秀樹	留任	日本電信電話(株) NTTコミュニケーション科学基礎研究所
伊藤 秀昭	留任	中京大学 情報科学部 情報科学科
稲垣 康善	留任	名古屋大学大学院 工学研究科 計算理工学専攻
今井 幸雄	留任	(株)野村総合研究所 ナレッジソリューション部門
植村 昌俊	再任	沖電気工業(株) オープンシステム統合センタ
宇佐見 仁英	再任	富士通(株) パッケージ事業本部
大貝 晴俊	留任	新日本製鐵(株)
大槻 説乎	再任	広島市立大学 情報科学部
大宅 伊久雄	留任	沖電気工業(株) 研究開発本部
岡 夏樹	留任	松下技研(株) 情報・ネットワーク研究所
岡田 直之	留任	九州工業大学 情報工学部 知能情報工学科
岡田 幹夫	新任	東京電力(株) システム研究所
岡本 明	留任	(株)リコー 研究開発本部
片井 修	再任	京都大学大学院 情報学研究科 システム科学専攻
菊田 泰代	再任	富士通(株) アウトソーシング事業本部
木下 哲男	留任	東北大学 電気通信研究所
久野 義徳	新任	大阪大学大学院 工学研究科
小長谷 明彦	再任	北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科
小林 哲則	留任	早稲田大学 理工学部 電気電子情報工学科
斉藤 宗昭	留任	
斉藤 康己	再任	日本電信電話(株) 長距離国際会社移行本部
坂部 俊樹	再任	名古屋大学大学院 工学研究科 情報工学専攻
櫻井 彰人	再任	北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科
島津 明	再任	北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
島津 秀雄	新任	日本電気(株) C&Cメディア研究所
新谷 虎松	留任	名古屋工業大学 知能情報システム学科
末田 直道	再任	(株)東芝 S&S研究所
杉村 領一	新任	松下電器産業(株) R&D企画室
諏訪 基	留任	電子技術総合研究所
高橋 理一	留任	(株)豊田中央研究所
瀧 寛和	再任	和歌山大学 システム工学部 情報通信システム学科
竹内 章	留任	九州工業大学 情報工学部 知能情報工学科
竹林 洋一	再任	(株)東芝 青梅工場 パソコン開発部
田中 謙	再任	北海道大学大学院 工学研究科 電子情報工学専攻
田村 浩一郎	留任	中京大学 情報科学部

辻 秀一	留任	三菱電機(株) 情報技術総合研究所
徳田 恵一	留任	名古屋工業大学 知能情報システム学科
戸沢 義夫	留任	日本IBM(株) コンサルティング事業部
豊田 順一	再任	大阪大学 産業科学研究所
中田 純一	留任	日本ユニシス(株) ソリューションシステム部
中村 孝太郎	再任	(株)東京自働機械製作所 MG1プロジェクト
西尾 章治郎	留任	大阪大学大学院 工学研究科
西田 正吾	新任	大阪大学大学院 基礎工学研究科 システム人間系専攻
野々垣 旦	留任	富士通アプリコ(株) マルチメディア事業部
橋本 和夫	留任	(株)KDD研究所 知識情報処理グループ
八賀 明	再任	汎用電子乗車券技術研究組合
馬場口 登	留任	大阪大学 産業科学研究所
早馬 修	再任	東亜大学大学院
原 潔	再任	日本ユニシス(株) 生産技術部
原口 誠	留任	北海道大学大学院 工学研究科 電子情報工学専攻
廣瀬 正	再任	(株)日立製作所 情報事業本部
瀧 一博	再任	慶應義塾大学 理工学部 管理工学科
古川 康一	再任	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科
堀 聡	留任	三菱電機(株)生産技術センター
松原 仁	再任	電子技術総合研究所 知能情報部
松山 隆司	留任	京都大学大学院 情報学研究科 知能情報学専攻
丸山 文宏	新任	(株)富士通研究所 コンピュータシステム研究所
溝口 文雄	留任	東京理科大学 理工学部 経営工学科
宮原 是中	再任	千葉工業大学 工業経営学科
山口 高平	再任	静岡大学 情報学部 情報科学科
山崎 英蔵	再任	(株)三菱総合研究所 情報技術研究センター
山村 雅幸	留任	東京工業大学大学院 総合理工学研究科
×× 山本 誠一	留任	A T R 音声翻訳通信研究所
横田 将生	再任	福岡工業大学 情報工学部
淀川 英司	留任	工学院大学 電子工学科
米山 正秀	再任	東洋大学 工学部 情報工学科
和佐野 哲男	再任	日本電信電話(株) 情報通信研究所
×× 渡辺 豊英	再任	名古屋大学大学院 工学研究科
渡辺 正信	留任	日本電気(株) 共通技術システム本部

(五十音順, 敬称略)

内 訳 (括弧内は昨年度)

留任	37名	大学関係	: 41名(42名)
新任	7名	国立機関他	: 3名(3名)
再任	34名	企業関係	: 34名(34名)
		合計	: 78名(79名)

以上

1998年度末退任評議員

氏 名	所 属
麻田 治男	(株)東芝 関西研究所
石田 亨	京都大学大学院 情報学研究科 社会情報学専攻
栗原 基	(株)東芝 マルチメディア技術研究所
高島 洋典	日本電気(株) ヒューマンメディア研究所
坂内 広蔵	(財)電力中央研究所 情報研究所
平井 誠	松下電器産業(株) 中央研究所
堀 浩一	東京大学 先端学際工学専攻
谷内田 正彦	大阪大学大学院 基礎工学研究科 システム人間系専攻

(五十音順, 敬称略)

© 1999

社団法人 人工知能学会

JSAI (Japanese Society for Artificial Intelligence)

OS Bldg. 402, 4-7 Tsukudomachi, Shinjuku-ku, Tokyo 162-0821, Japan

TEL: 03-5261-3401 FAX: 03-5261-3402

1999年度第14回通常総会資料

発行日：1999年6月16日

発行所：社団法人 人工知能学会

〒162-0821 東京都新宿区津久戸町4-7 OSビル402

TEL: 03-5261-3401 FAX: 03-5261-3402

印刷所：(株)早稲田大学事業部

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-1-7

TEL: 03-3203-3308 FAX: 03-3202-5935